事業番号　0279

平成２９年度行政事業レビューシート（　厚生労働省　）

事業名	保険医療機関等管理システム			担当部局庁	保険局	作成責任者
事業開始年度	平成２０年度	事業終了（予定）年度	終了予定なし	担当課室	医療課	迫井　正深
会計区分	一般会計					
根拠法令（具体的な条項も記載）	－			関係する計画、通知等	診療報酬の算定方法 （平成20年厚生労働省告示第59号）	
主要政策・施策	－			主要経費	その他の事項経費	
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	保険医療機関等からの施設基準等の届出及び申請情報を効率的に管理し有効に利活用することにより、適正かつ安定的・効率的な医療保険制度の運営に寄与するものである。					
事業概要（5行程度以内。別添可）	当該システムを有効に活用することにより、保険医療機関等からの施設基準等の届出及び申請情報について、地方厚生（支）局等において効率的に管理する。					
実施方法	委託・請負					

予算額・執行額（単位：百万円）

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求
予算の状況	当初予算	103	128	135	1,195	1,362
	補正予算	－	－	－	－	
	前年度から繰越し	－	－	－	－	－
	翌年度へ繰越し	－	－	－	－	
	予備費等	－	－	－	－	
	計	103	128	135	1,195	1,362
執行額		94	121	130		
執行率（%）		91%	95%	96%		
当初予算＋補正予算に対する執行額の割合（%）		91%	95%	96%		

平成29・30年度予算内訳（単位：百万円）

歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由
医療給付適正化業務庁費	1,195	1,362	新システムの構築に伴う経費として以下を新規に要求。 ・アプリケーション保守に要する経費 ・工程管理支援業務に要する経費
計	1,195	1,362	

成果目標及び成果実績（アウトカム）

定量的な成果目標	成果指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
－	－	成果実績	－	－	－	－	－	－
		目標値	－	－	－	－	－	－
		達成度	%	－	－	－	－	－

根拠として用いた統計・データ名（出典）：－

定量的な成果目標の設定が困難な場合

定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標	定量的な目標が設定できない理由	定性的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績
	保険医療機関等からの施設基準等の届出及び申請情報の効率的な管理を目的とする事業であることから、事業の性質上、定量的な成果目標（指標）を明示することは困難なため。	保険医療機関等からの施設基準等の届出及び申請情報の効率的な管理を目標とする事業であり、平成28年度末現在で224千件の保険医療機関等のデータを管理している。

事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績

代替目標	代替指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
保険医療機関等のデータベース構築を間接的目標とする。 平成28年度末現在で、224千件の保険医療機関等のデータを管理している。	得られたデータを適正に管理し、有効に利活用することとする。	実績	千件	224	224	224	－	－
		目標値	－	－	－	－	－	－
		達成度	%	100	100	100	－	－

活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込	30年度活動見込
	保険医療機関等からの施設基準等の届出及び申請情報の効率的な管理を目的とする事業であることから、事業の性質上、定量的な成果目標（指標）を明示することは困難なため、保険医療機関等のデータを間接的指標とする。 平成28年度末現在で、224千件の保険医療機関等のデータを管理している。	活動実績	千件	224	224	224	－	－
		当初見込み	－	－	－	－	－	－

単位当たりコスト	算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込
	単位当たりコスト ＝ X ／ Y X:「執行額」 Y:「保険医療機関等のデータ数」	単位当たりコスト	千円	0.4	0.5	0.6	－
		計算式	百万円 ／ 千件	94/224	121/224	130/224	－

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係

政策評価

政策：施策大目標9　全国民に必要な医療を保障できる安定的・効率的な医療保険制度を構築すること

施策：施策目標Ⅰ-9-1　データヘルスの推進による保険者機能の強化等により適正かつ安定的・効率的な医療保険制度を構築すること

測定指標

定量的指標		単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 － 年度	目標年度 － 年度
－	実績値	－	－	－	－	－	－
	目標値	－	－	－	－	－	－

本事業の成果と上位施策・測定指標との関係

保険医療機関等からの施設基準等の届出情報を地方厚生（支）局等において管理するためのシステムを運用し、事務処理の効率化、効果的な遂行を図ることで、安心・信頼してかかれる医療の確保に寄与する。

経済・財政再生アクション・プログラム

改革項目：分野：－　－

KPI（第一階層）

KPI（第一階層）		単位	計画開始時 － 年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
－	成果実績	－	－	－	－	－	－
	目標値	－	－	－	－	－	－
	達成度	%	－	－	－	－	－

KPI（第二階層）

KPI（第二階層）		単位	計画開始時 － 年度	28年度	29年度	中間目標 － 年度	目標最終年度 － 年度
－	成果実績	－	－	－	－	－	－
	目標値	－	－	－	－	－	－
	達成度	%	－	－	－	－	－

本事業の成果と改革項目・KPIとの関係

－

事業所管部局による点検・改善

	項　目	評　価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	診療報酬制度において不可欠な地方厚生（支）局等における保険医療機関等からの届出及び申請情報の管理業務のため、広く国民のニーズがあり、国費を投入し、国が実施すべき事業である。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	診療報酬制度において不可欠な地方厚生（支）局等における保険医療機関等からの届出及び申請情報の管理業務のため、国費を投入し、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	診療報酬制度において不可欠な地方厚生（支）局等における保険医療機関等からの届出及び申請情報の管理業務のため、優先度が高い事業である。

<table>
<tr><td rowspan="5">事業の効率性</td><td colspan="3">競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。</td><td>△</td><td rowspan="3">○平成28年度実績（継続）の以下の調達案件については、一部で不落随契や1者応札となったものの、競争性確保のため一般競争入札で調達を実施した。
・ハードウェア保守
・アプリケーション保守
・H28診療報酬改定に係るシステム改修
なお、次回の入札に向けて、公告期間の延長、調達仕様書の記載内容の充実、入札説明会でのより具体的な説明、等の改善策を検討する。

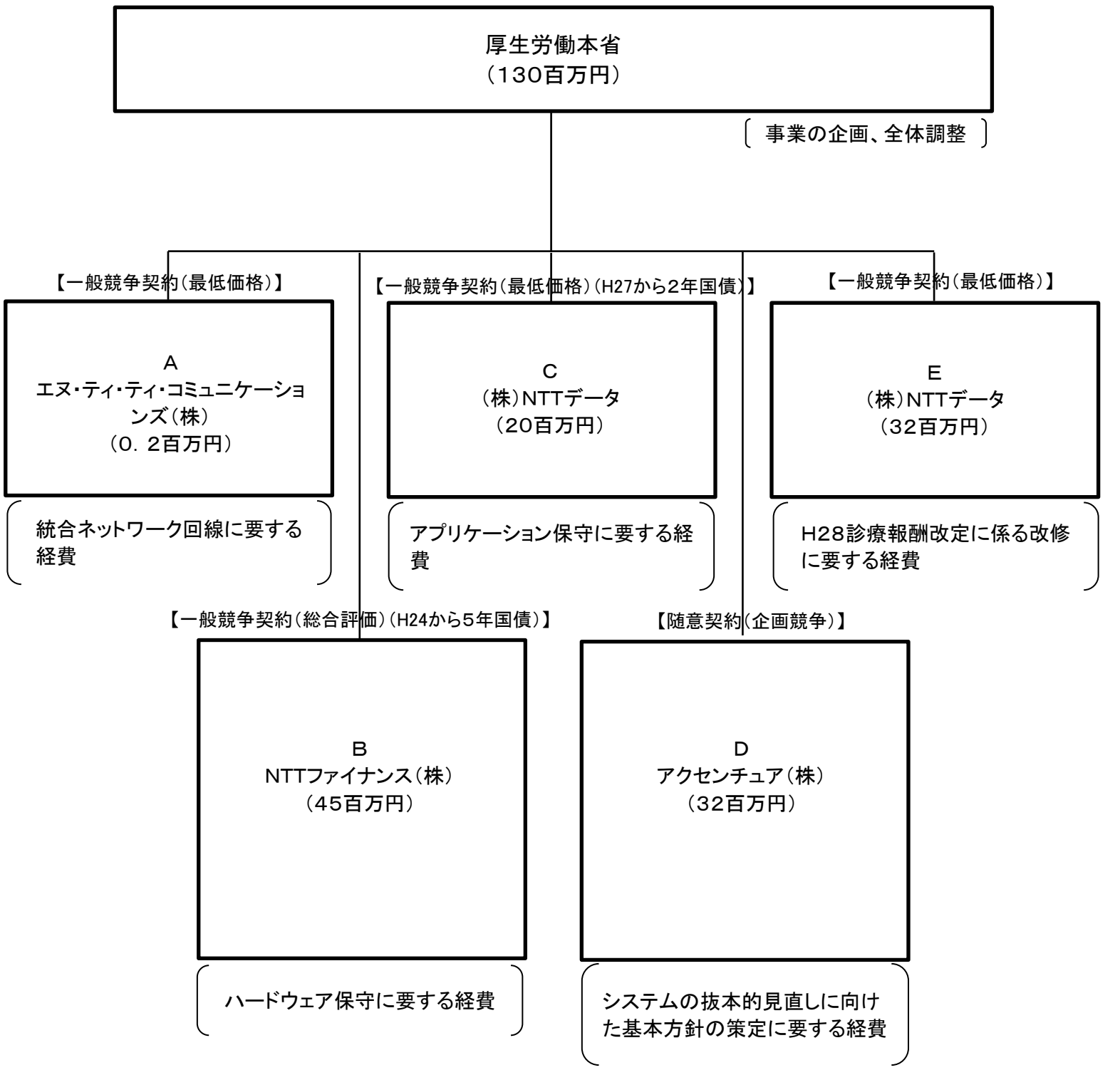
○平成28年度実績（新規）の以下の調達案件については、随意契約（企画競争）により実施し、3者の提案書提出があった。
・システムの抜本的見直しに向けた基本方針の策定</td></tr>
<tr><td colspan="3">一般競争契約、指名競争契約又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。</td><td>有</td></tr>
<tr><td colspan="3">競争性のない随意契約となったものはないか。</td><td>無</td></tr>
<tr><td colspan="3">受益者との負担関係は妥当であるか。</td><td>-</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">単位当たりコスト等の水準は妥当か。</td><td>○</td><td>一般競争入札の実施によりコスト削減に努めており妥当な水準である。</td></tr>
<tr><td colspan="3">資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。</td><td>-</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。</td><td>○</td><td>個別システムの運用保守及びシステム改修等を目的としたものであり、真に必要最低限のものに限定されている。</td></tr>
<tr><td colspan="3">不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）</td><td>-</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）</td><td>-</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。</td><td>-</td><td>－</td></tr>
<tr><td rowspan="4">事業の有効性</td><td colspan="3">成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。</td><td>○</td><td>個別のシステムの運用保守及びシステム改修等であり、保険医療機関等のデータを管理することを代替目標にしており、効率的に管理できている。</td></tr>
<tr><td colspan="3">事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。</td><td>-</td><td>－</td></tr>
<tr><td colspan="3">活動実績は見込みに見合ったものであるか。</td><td>○</td><td>個別のシステムの運用保守及びシステム改修等であり、保険医療機関等のデータを管理することを代替目標にしており、効率的に管理できている。</td></tr>
<tr><td colspan="3">整備された施設や成果物は十分に活用されているか。</td><td>○</td><td>個別のシステムの運用保守及びシステム改修等であり、十分に活用されている。</td></tr>
<tr><td>関連事業</td><td colspan="3">関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）</td><td>○</td><td>保険局医療課の他、全国の地方厚生(支)局及び都道府県事務所の職員が本システムを利用するため、その運用のための維持管理及び保守業務に係る経費負担を医療課と地方課で適切に分担している。</td></tr>
<tr><td colspan="5"><table><tr><th>所管府省名</th><th>事業番号</th><th>事業名</th></tr><tr><td>厚生労働省</td><td>0281</td><td>保険医療機関等管理システム</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table></td></tr>
<tr><td rowspan="2">点検・改善結果</td><td colspan="4">点検結果</td><td>本システムは、平成5年に運用を開始したシステムであり、データベースとして、医療分野を中心に採用されてきたMUMPS等で開発した機能を当時から継続して活用しているため、参入できる事業者が限られ、高コストな体質となっていることや、政策面、業務面の課題に柔軟かつ効率的に対応できないこと等の根本的な問題を抱えている。</td></tr>
<tr><td colspan="4">改善の方向性</td><td>このため、単なるハードウェア更改ではなく、業務効率化とコスト削減の観点から、柔軟かつ効率的なシステムを構築するために、本システムの抜本的な刷新を実施する。同時に、構造・仕様等の汎用性を高め、他社参入を促進することにより、費用の高止まりを解消する。</td></tr>
<tr><td colspan="6">外部有識者の所見</td></tr>
<tr><td colspan="6">保険医療機関からの施設基準等の届出等の管理・運営を行う事業であり、現状維持としたい。
（増田　正志）</td></tr>
<tr><td colspan="6">行政事業レビュー推進チームの所見</td></tr>
<tr><td>現状通り</td><td colspan="5">引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めること。</td></tr>
<tr><td colspan="6">所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況</td></tr>
<tr><td>現状通り</td><td colspan="5">引き続き、必要な予算額を確保し、適正な執行に努めたい。</td></tr>
</table>

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号							
平成22年度	286	平成23年度	256	平成24年度	225		
平成25年度	258	平成26年度	270	平成27年度	282		
平成28年度	274						

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A. エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ（株）

費　目	使　途	金　額（百万円）
雑役務費	統合ネットワーク回線に要する経費	0.2
計		0.2

B. NTTファイナンス（株）

費　目	使　途	金　額（百万円）
雑役務費	ハードウェア保守に要する経費	45
計		45

C. （株）NTTデータ

費　目	使　途	金　額（百万円）
雑役務費	アプリケーション保守に要する経費	20
計		20

D. アクセンチュア（株）

費　目	使　途	金　額（百万円）
雑役務費	システムの抜本的見直しに向けた基本方針の策定に要する経費	32
計		32

E. （株）NTTデータ

費　目	使　途	金　額（百万円）
雑役務費	H28診療報酬改定に係る改修に要する経費	32
計		32

F.

費　目	使　途	金　額（百万円）
－	－	－
計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支　出　先	法　人　番　号	業　務　概　要	支　出　額（百万円）	契約方式等	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（支出額10億円以上）
1	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ（株）	7010001064648	統合ネットワーク回線	0.2	一般競争契約（最低価格）	3	30.4%	－

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額（百万円）	契約方式等	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（支出額10億円以上）
1	NTTファイナンス（株）	8010401005011	ハードウェア保守	45	一般競争契約（総合評価）	1	99.3%	－

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額（百万円）	契約方式等	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（支出額10億円以上）
1	（株）NTTデータ	9010601021385	アプリケーション保守	20	一般競争契約（最低価格）	1	99.9%	－

D

	支出先	法人番号	業務概要	支出額（百万円）	契約方式等	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（支出額10億円以上）
1	アクセンチュア（株）	7010401001556	システムの抜本的見直しに向けた基本方針の策定	32	随意契約（企画競争）	3	100%	－

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額（百万円）	契約方式等	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（支出額10億円以上）
1	（株）NTTデータ	9010601021385	H28診療報酬改定に係る改修	32	一般競争契約（最低価格）	1	99.9%	－

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ﾌﾞﾛｯｸ名	契約先	法人番号	業務概要	契約額（百万円）	契約方式	入札者数（応募者数）	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策（契約額10億円以上）
1		－	－	－	－		－	－	－